

9月2日（体育祭閉会式）

ありがとう。

【閉会式】

会場の皆様方、最後までご観覧くださりありがとうございました。午前中から天に祈り、気象庁の雨雲レーダーを見ながら過ごしました。遠くでは稲光が見え、雷の音もだんだん近づいていましたが、今日は奇跡が起きました。口之津と加津佐に近づくと不思議に雨雲が消えるんです。隣町の南串山までは雨だったそうです。天が私たちに味方してくれたのだと思います。

練習期間中、ずっと雨だったのである時、体育の先生方に「グラウンドで練習できませんが大丈夫ですか。間に合いますか。」と聞きました。体育科の先生方の答えはこうでした。「正直言って頭を抱えています。でも、うちの生徒だったら大丈夫でしょう。」その言葉どおり、素晴らしい体育祭でした。テーマにある「令和で輝け 新し口加の幕開け」にふさわしい体育祭でした。

1、2年生の後輩たちをリードした3年生、ありがとう。グラウンドでほとんど練習1、2年生、集団行動の完成度の高さは見事でした。テントの中で沢山の拍手や歓声が上がっていました。ありがとう。朝7時過ぎに登校して、グラウンドの整備をしてくれたみんな、ありがとう。体育祭を盛り上げてくれた放送部、吹奏楽部のみんな、ありがとう。体育祭の前に、校内の草刈りをしていただいた保護者の方々もいらっしゃいました。ありがとうございました。また、ジュースの販売をしていただいた保護者の皆様、ありがとうございました。まさに、オール口加で創り上げた体育祭でした。

皆の姿を見ながら、若いっていいなと思いました。若さとは力であり、エネルギーです。若さとは可能性であり、未来であり、武器でもあります。しかし、残念ながら若さが武器であることは、年を取ってから初めて気付くものです。今、みんなは若さという武器を持っています。この口加高校で、学習に部活動に行事にこれからも青春の炎を燃やしてください。

青春時代は汗まみれ、泥まみれ、涙まみれです。楽しいことばかりではありません。苦しいことも、悩むことも、辛いことも、悲しいこともあるかもしれません。そんな時は、皆の前を見てごらん。こんなにたくさんの大人がみんなを見守っていることを忘れないでください。

保護者のみなさんの最大の自慢は、子供です。口加高校の最大の自慢は、生徒です。今日、それをまた改めて私たちは実感しました。保護者のみなさんの気持ちを代弁します。私たちの子供でいてくれてありがとう。そして、職員の気持ちを代弁します。口加高校の生徒でいてくれてありがとう！！